

第五十二回帝國議會
衆議院

河川法中改正法律案(政府提出)委員會會議錄(速記)第三回

會議

昭和二年一月三十一日(月曜日)午後一時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 神谷 彌平君

理事 加藤 知正君

黒田重兵衛君 寺田 市正君

富永孝太郎君

出席政府委員左ノ如シ

内務參與官 鈴木富士彌君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

内務書記官 岡田 文秀君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

河川法中改正法律案(政府提出)

○神谷委員長 是ヨリ開會致シマス、

先ニ政府委員ノ説明ヲ求メタイト思ヒマス

○鈴木政府委員 河川法中改正法律案

ノ提出理由ハ、本會議ニ於キマシテ内

務大臣ヨリ大略ヲ説明致シマシタ、今

法文ニ基キマシテ稍詳シキ御説明ヲ致

シタイト思ヒマス、今回ノ改正ハ唯三

箇條ダケデアリマス、而モ其中二箇條

ハ純然タル條文ノ整理デアリマシテ、

外ニ深い意味ハアリマセズ、唯一箇條

ダケガ從來ト少シク實質ヲ異ニスル改

正ニナツテ居リマス、此點ガ御考慮ヲ希

フ點デアラウト存ジマス、ソレハ第六

條デアリマス第六條ノ規定ニ依リマス

ト現行ノ河川法ノ下ニ於キマシテハ河

川ノ管理ハ原則トシテ地方行政廳、即

チ府縣デアルベキモノニナツテ居リマ

ス、而シテ河川ガ行政區劃ノ境域トナツ
タリ、或ハ二府縣ニ跨ツタ爲ニ一府縣ノ
ミノ利害關係ニ止マラナイト云フ時分
ニ於キマシテハ、内務大臣ニ於テ代ッテ
之ヲ管理シ又ハ維持修繕ヲ爲スコトガ
出來ルニ止マツテ居ルノデアリマス、然
ル所内務大臣ガ直接ニ管理維持修繕ヲ
シナケレバナラヌノハ、斯ウ云フ條件
ノ備ツタ場合ノミニ實際上限ラナイコ
トガ起ツテ來ルノデアリマシテ、例ヘバ
信濃川ノ大河津ノ分水工事デアルトカ、
多大ノ費用ヲ投ジテ國家ガ之ヲ施シタ
ノデアリマシタガ、之ヲ維持修繕スル
ノハ、一府縣ノミデハ負擔ノ上カラモ
工事ノ上カラモ、少シク荷ガ重過ギル
ト云フヤウナ關係モアリマシテ、ドウ
シテモ是ハ内務大臣ガ直接ニヤラナケ
レバ目的ヲ達成スルコトガ出來ヌダラ
ウト思ヒマス、カルガ故ニ此改正案ニ
於キマシテ、内務大臣ガ直接河川ヲ管
理シ得ルノハ、現行法ノ但書ノ規定ノ
ミナラズ、更ニ進ンデ直接主務大臣ガ
施行シタ河川工事ニ付キマシテハ、主
務大臣ニ於テ引續キ管理、又ハ維持修
繕ヲ爲スコトガ出來ルト云フヤウニ改

正ヲ致シタ次第デゴザイマス、其最モ
適切ナル實例ハ、只今申上ゲタ通り、新
潟縣ニ於ケル信濃川ノ大河津ノ分水ノ
如キハ即チ是デアリマス、ソレカラ五
十八條ハ刑法ガ改正サレマシタ結果、
昔ノ如ク禁錮ト云フモノガ、重禁錮輕
禁錮ト云フ區別ガナクナリマシタ、而
シテ昔ノ重禁錮ニ當ルモノハ、現行刑
法ニ於テ懲役トナツテ居リマス、ソレデ
此點ヲ改メマシテ、懲役若クハ禁錮ト
云フ文字ニ更ヘタノデアリマス、ソレ
カラ二百圓以內ノ罰金ニ云々ト云フ書
振リデアリマシタガ、只今ハ二百圓以
內ノ罰金——以內ト以下ノ差ガアルノ
デアリマス、單純ナ條文ノ整理デアリ
マス、ソレカラ六十六條ハ是ハ從來ヨ
リ慣例ト致シマシテ府縣ノ土木費ハ國
庫カラ補助スルト云フコトニナツテ居
リマスガ、此補助ノ規程ガ法律トシテ
公布セラレマシタノミナラズ、外國人
居留地ト云フモノガ廢サレマシタノデ、
此條文ノ實施ハ全然無クナツタノデア
リマス、ソレ故ニ削除致シマシタ、實ハ
今日之ヲスルノハ稍晚キノ感ガアリマ
スケレドモツイ今日ニ至ルマデ之ヲ放
任シテ居タ譯デアリマス、此際條文ノ
整理ヲ致サウト云フ譯デアリマス

○加藤委員 今度御提案ニナリマシ
タ此河川法中改正法律案ノ改正條項

ヲ拜見致シマス、洵ニ適切ナヤウニ

思ハレマスガ、此機會ニ少シク御意見

ノ在ル所ヲ伺ヒタイト思ヒマス、ソレ

ハ外デハアリマセヌ只今政府委員カラ

新潟縣ノ信濃川ノ大河津分水ノ一例ヲ

御舉ゲニナリマシタガ、御承知ノ如ク

新潟縣ニ於キマシテハ昨年八月二十七

日カラ降り出シマシタ豪雨ノ爲ニ、二

十八日二十九日、兩日ニ涉リ中越方面

ニ未曾有ノ大水害ヲ演ジタノデアリマ

ス、從來新潟縣ノ洪水ト云ヘバ、大抵信

濃川阿賀野川等ノ大河ニ限ラレテ居ルカ

ノヤウニ考ヘラレテ居タノデアリマス、

即チ大水ガ出タト云ヘバ直ニ是等ノ河川

ヲ聯想スルト云フ程ニナツテ居リマシタ、

然ルニ昨年ノ水害ハ信濃川阿賀野川等

ノ水量ハ大變増加ハ致シタケレドモ、破

堤ト云フヤウナ慘狀ヲ殆ド見ナカッタノ

デアリマス、是ハ畢竟信濃川ヤ阿賀野

川ノ水源ニ於ケル雨量ガ左程デナカッ

タ關係ニ依ルコトトハ思ヒマス、尤モ

信濃川ノ如キハ大河津ノ分水ト云フコ

トガ與ツテ非常ニ大ナル效果ヲ奏シタ

ニ違ヒナイノデ、此點ニ於テハ吾々縣

民ハ多大ノ感謝ヲ致シテ居ルノデゴザイ

マス、斯様ナ次第デ阿賀野川ヤ信濃川

ニ於テハ幸ニ水害ノ慘狀ヲ見ナイデ濟

ンダノデアルガ、之ニ反シテ二大流ニ注

グ所ノ大小ノ河川ニ在リテハ容易ナラ

ズ

又慘狀ヲ呈シタコトハ、内務當局ノ能ク御承知ノコトデアリマス、即チ從來水害ナドハ夢ニモ見ルコトノ出來ナカッタ地方ヤ、稀ニアリマシテモ今カラ百年トカ百五十年トカ前ニ水害ガアッタコト云フコトガ、纔ニ記録ヲ辿リ或ハ古老ノ話ニ依テ想像スル位ノ地方ニ於テ未曾有ノ慘狀ヲ呈シタノデアリマス、彼ノ刈谷田川、五十嵐川、加茂川、早出川ノ如キガソレデアリマシテ是等ノ諸川氾濫ノ結果栃尾郷ノ如キ、全ク大震災以上ノ大慘害ヲ呈シ加茂三條ノ方面及其地方ノ山間部ハ申スニ及バズ中蒲原郡ノ巢本川、東川内、七谷等ノ諸村ハ堤防ノ破壊通路ノ缺壞田畑ノ流失シタル區域頗ル廣ク此結果小須戸、小合、白根地方ノ洪水永日ニ互リ、其慘狀ハ始ド極度ニ達シタノデアリマス、然ラバ斯クノ如キ大洪水ヲ現ハシタ其原因ハ一體ドコニ在ルカト云フコトヲ考ヘテ見マスルニ、三ツノ原因ガ在ルト思フ、即チ山間部方面ニ於ケル未曾有ノ雨量ガ其一ツデアアルガ、此大雨量ノ外ニ、第二ノ原因トシテハ山林ノ濫伐ト云フコトガ非常ニ關係シテ居ルヤウニ思ハレマス、若シ此山林濫伐ガナカッタナラバ、例令大ナル雨量ガ在ッタニシタ處デアレ程ノ大慘狀ヲ見ナカッタデアラウト推測スルノデアリマス、而シテ第三ノ原因トシテ是等山間部ニ於ケル河川ノ堤防ナルモノガ殆ド有ッテ無キガ如キ狀態ノ處ガ多カッタト云フ

コトデアルト思ヒマス、即チ川ノ傍マデ田ヤ畑ニナツテ居リ、或ハ道路或ハ山林ニナツテ居ルト云フ風デ、堤防ラシイ堤防ガ無いト云フ有様デアリマスカラ、未曾有ノ大雨量トナルト山ニハ之ヲ支ヘル力ガ無い、故ニ一時ニ下流ニ押シ寄セ來リ遂ニソレガ堤防ノ在ル處デモ忽チ汎濫漲溢ノ狀態トナリテ、アノ様ナ大慘狀ヲ呈シタノデアラウト私ハ想像致シテヲリマス、而シテ是等ノ河川ヲ調べテ見マスルト下流ノ方ハ縣費支辨ニナツテヲリ其上ガ縣費補助、ソレヨリ上流ノ方ハ町村費ニ依テ堤防其他ヲ處理セラル、ト云フ風デアリマスカラ、自然堤防ラシイ堤防モ出來ズ、殆ド放任サレテ居ルノハ已ムヲ得ヌコトデアラウト思ハレマス、茲ニ於テ考ヘマスルニ、信濃川トカ或ハ阿賀野川ノヤウナ、アア云フ大河川ニ向ッテ國トシテ主力ヲ注イデ護岸工事ヤ河身改修ヲヤラルコトハ當然ノ處置ト考ヘテ居リマスガ、併ナガラ山間部ニ於ケル大小ノ河川、今日マデ國トシテ顧ラレナカッタ所ノ河川其モノニ付キマシテハ、國トシテ大ニ注意ヲ拂ハナケレバナラスト思フノデアリマス、折角信濃川、阿賀野川ト云フ大河川ニ全力ヲ注イデ、護岸工事ヤ改修工事ヲ施シタ處デ現在ノヤウデハ、其效果ハ空シウスルヤウナコトガ今後續々出來ハシナイカラ虞ルルノデアリマス、先刻申上ゲマシヤウニアノ當時信濃川デハ幸ニ其水源地方タル信州

方面ニ於テ雨量ガ少カッタノデアアルガ、阿賀野川デモ福島地方ニ於ケル雨量ガ左程多クナカッタカラ此等ノ河川ニ注グ諸川ガヨシ、汎濫シテモ此二大川デハ慘狀ヲ呈サナカッタケレドモ、若シアノ場合ニ於テ信州又ハ福島地方ニ於ケル所ノ所謂其水源地方ニ於ケル所ノ雨量ガ非常ニ多カッタナラバ、タトヘ大河津ノ如キ分水工事ガ在ッタニシテモ、決シテアレダケノ被害程度デハ止マラナカッタデアラウト想像スルノデアリマス、勿論國家經濟ノ現狀トシテハ今申シタヤウナ方面——山間部落ニ於ケル所ノ小サナル河川ニ迄モ手ヲ延スト云フコトハ、ソレハ中々容易ナラスコトデアリマセウケレドモ、併ナガラ治水工事ヲ施スト云フコトニ於テハ、其源カラシテ十分ニシテ置カナケレバ下流ノ工事ヲ如何ニ完全ニシテモ、決シテ水害ノ慘禍ヲ未然ニ防グト云フコトハ出來ナイデアラウト云フ風ニ、私ハアノ洪水ノ當時痛切ニ感じテ居リマシタカラ、此際此事ヲ申上ゲテ政府當局ニ於テハ之ヲドウ云フ風ニ御考ヘナサレテアルカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、無論此水害ハ年々在ルノデアリマス、今初メテノ出來事デハナイアリマシテ、今初メテノ出來事デハナイ新潟地方ニアッタアノ大水害ハ普通ノ水害ト云フヨリハ、山津波ト云フ方ガ適當デアリマスガ、斯様ナ事ハサウ度ミ在ルモノデモアリマスマイケレド併シ

又今後數々此大慘狀ヲ繰返スヤウナコトガナイトモ限リマスマイカラ、此山間方面ニ於ケル所ノ治水ノ方法ヲ講ジテ置ク必要ガ大イニアリハセヌカト考ヘマシテ、之ニ關スル所ノ當局ノ御意見ヲ御伺ヒスル次第デアリマス
○鈴木政府委員 只今加藤サンノ御質問ニ對シテ大略私ヨリ御答ヲ致シテ置キタイト思ヒマス、河川氾濫ニ因テ生ズル災害ノ大ナルコトハ、御承知ノ通り日本ノ最モ憂フベキ事柄ノ一ツデゴザイマス、カルガ故ニ舊幕時代ニ於テモ治水ニハ中々心ヲ注イダモノデアリマスルガ、明治御一新以後ニ於テ治水計畫ヲ立テマシタノハ、明治六年ニ淀川ニ手ヲ著ケタノガ最初ノヤウニ心得テ居リマス、ソレカラ今迄ノ經過ヲズット見マスルト云フト、凡ソ之ヲ五期ニ分ツコトガ出來ルノデアリマス、サウシテ其最後ノ第五期ト云フノガ大正十一年カラ始ツテ居ルノデアリマシテ、大キナ川ハ大體ニ於テ第四期迄ニ手ヲ著ケテ居ルノデアリマスガ、大正十一年カラ工事ヲ始メマシタノハ、從來ノ分ニ加ヘテ所謂第二治水計畫ニ屬スルモノデアリマシテ、是ハ大正十年度ニ臨時治水調査會ヲ開キマシテ、決議ヲ致シマシタ五十七河川ヲ二十箇年内ニ改修ラスルト云フ計畫ヲ立テタノデアリマス、而シテ財政ノ許ス限リ之ヲ著々調査シ、調査ノ完成スルニ從ッテ工事ニ着手スル、斯ウ云フ順序ニナツテ居ルノデ

アリマス、然ル所只今加藤サンノ仰セ
ニナリマシタ如ク、大河川ノ上流若ク
ハ支河川ニシテ、突然非常ナ災害ガ起
リマシテ、是ガ爲ニ人畜ノ死傷ガ凄シ
イト云フヤウナ現象ヲ呈スルコトモア
ル、之ニ付キマシテモ深甚ノ考慮ヲ内
務當局トシテハ致シ、特ニ御示シノ昨

出テ非常ニ天氣ガ好カッタト云フコト
デアリマシテ、實際思ヒモ寄ラヌ慘害
ガ起リタ次第デアリマスガ、之ニ對シテ
ハ適當ナ處置ヲ施シテアル積リデアリ
マス、今後斯様ナ事ガアレバ、ヌカラズ
機宜ノ處置ヲスル積リデアリマス、左
様御承知ヲ願ヒマス

ルヤウナ譯デアリマス、御示シノヤウ
ナ點ニ付テハ役所トシテモ十分考慮ヲ
シテ居ルヤウナ次第デアリマス

採テ居ラルルカドウカ、或ハソレガ最善
ノ案デアルト御認メニナッタ場合ニハ、
縦令縣費支辨ノ川デアッテモ、町村費支
辨ノ川デアッテモ、之ガ監督官廳タル内
務省トシテハタトハ關係町村又ハ一部
落ニ反對ガアッテモ職權ヲ以テ良イト
御認メニナッタ案ノ遂行ヲ御認可ナサ
ル、方針デアアルカドウカ、之ヲ參考ノ
爲ニ伺ッテ置キタイノデアリマス

年八月ニ起リマシタ刈谷田川ノ災害ニ

原因ニ付テハ、就中上流ノ山林ノ濫伐

後頻リニ心配ヲ致シテ居リマス、所ガ

〇鈴木政府委員 一ツノ河川ノ改修計

付キマシテハ、災害復舊土木費ト云フ

ト云フコトハ、役所ニ於テモ勿論サウ

案ノ如ク之ヲ行フコトガ出來ズシテ、止

畫ヲ樹テマス時分ニ、多クノ場合案ガ二

云フト語弊ガアリマスケレドモ、ソレ

内務省トシマシテハ砂防ト云フノガ大

ラヌト云フヤウナ狀態ニナッテ居リマ

ツ三ツ出ルノデアリマス、別ニ順位ト云

程災害ガアルトハ思ハレナカッタ、其災

害ニ付キマシテハ大體治水ノ計畫ガ其

案ト云フ風ニ名ケマス、是ハ必ズ第

一ノ案ガ絕對ノモノデ、第二案ガ改善

中ニ含マッテ出來上ルヤウナ計畫ニナッ

ガ、詰リ砂防ノ區域トシテ指定サレマ

ルコトガ出來ナイノデ仕方ガナイカラ

デアルトハ限リマセヌ、其内比較的良

テ居ルヤウニ承知致シマス、而シテ斯

ノ如キ雨量ガ一時ニ多ク一地方ニ降リ

マシテ、非常ナ慘害ヲ呈スルト云フコ

行シヤウト思フノデアリマスケレドモ、

トハ、御意見ノ如ク森林政策ニ大分關

係ガアルト云フコトハ是ハ申スマデモ

之ヲ爲スガ爲ニ關係町村民ノ非常ナ反

感ヲ招イテ、竹槍藩旗運動ガ起ルト云

ナイ、是ハ農林省ニ於キマシテ非常ニ

綿密ニ取調ヲ致シマシテ、此方面ノ對策

コトデハアリマセヌカラ、サウ云フ場

合ニハ少シ迂遠デモ第二案ニスルト云

ヲ講ジテ居ルヤウデアリマス、其詳イコ

トハ農林當局カラモ御示シガアラウト

係部落ノ承諾ヲ得ルコトガ出來ナイ爲

ニ、已ムナク第二案ニ依ラナケレバナ

存ジマスガ、尙ホ此處ニ河川課長ガ居リ

マスルカラ、足ラヌ所ハ補フコト、思ヒ

ニ、已ムナク第二案ニ依ラナケレバナ

案ヲ遂行スル場合モナイデハナイ、デ

マス、斯様ナ次第デゴザイマシテ、決シ

テ當局ト致シマシテハ、初メカラ問題ニシ

テハ、内務省ノ砂防ト相似タルモノデ

アリマスガ、荒廢地復舊ニ依ル助成ニ

ナイト云フ譯デハナイノデアリマシテ、其

依リマシテ、ソレ等ノ監督モ致シ助成

モシテ居リマス、又保安林ノ關係デ以

テ山林ノ濫伐ニ對シテモ監督ヲシテ居

豫期シナイ、而モ數時間前マデハ月ガ

テ山林ノ濫伐ニ對シテモ監督ヲシテ居

如何ニ良イ案デモ認可セスト云フ方針ヲ

ス、去リトテ非常ナ反對ガアルノヲ構

第五類第一號 河川法中改正法律案(政府提出)委員會會議錄 第三回

昭和二年一月三十一日

三

三

ハズ押切ルト云フ程ノコトデモアリマセヌ、所謂緩急宜シキヲ得テ案ヲ決メル積リデアリマス

○加藤委員 大體諒承致シマシタガ、更ニ伺ヒタイノハ、地上ノ事デアリマス、實ハ此大水害ニ遭遇シマシタ栃尾町ヨリ奥へ這入ッタ處ニ年々地ニスル處ガアルノデアリマス、來傳村ト云フノガソレデアリマスガ、此村ニハ中々廣イ區域ニ涉ッテ地ニガアルノデアリマス、此爲ニ或部落ノ如キハ全部ガ他へ移轉シナケレバナラヌヤウニナッテアリマスガ、併シ經濟上ニ其餘裕ガ無イトカ或ハ餘裕ガアツテモ其附近ニ適當ノ場處ガ無イトカト云フノデ困ッテアルノデアリマス、然ラバ寧ロ朝鮮ナリ北海道ナリへ移住シタラドウカト云ッテモ祖先傳來住ミ慣レタ土地ハ放レタクナイト云フ所カラ、恐ロシイ地ニヲ見ナガラ住ンデ居ルヤウナ狀態、無論他へ移住シタ者モアリガ私ガ行ッテ見マシタ當時ニハ家ガ傾イテ戸ガ開カナイト云フヤウナ實際見ルモ涙ガ出ルヤウナ農家ガ在ッタノデアリマス、處デ此地ニナルモノヲ調ベテ見ルト、洵ニ小サイ一本ノ川ガ原因ヲ爲シテ居ルヤウデアリマス、ソレデ縣デモ其河ガ有ル爲ニ地ニヲ生ズルモノト見テ、砂防工事トデモ申シマス、縣費ヲ以テ此地ニ止メノ工事ヲシテ居リマスガ何分縣費ニ餘裕ノナイ爲ニ縣カラハ十分ナ費用ヲ出シテ思切ッタ 徹底的ノ工事

ヲスルコトガ出來ナイ、憾ミノアル處ヘ昨秋ノ大洪水デ又ハ地ニスルノガ舊ニ戻ッテシマッタト云フコトデアリマスガ、斯ウ云フ場合ニ於テハ國トシテ何ントカ御心配下サルコトガ出來ナイモノカ、又是迄政府ハ此地ニ對シテハ如何様ナル御取扱ヲナサレタッタカ、是人道問題ノ一ツト考ヘ御伺ヲスルノデアリマス、要スルニ此地ニナルモノハ十分ノ費用ヲ掛ケテ徹底的ニ之ガ防禦工事ヲ施サナケレバ、一寸シタ砂防工事位デハ到底防ギ得ルモノデハナイガ、去レバト云ッテ、費用ノ關係上只今ノヤウナコトニナッテ居リマスカラ、斯様ナ場合ニ於テハ、國トシテ之ヲ構ハズニ置クト云フコトハ如何ノモノデアリマセウカ、此際政府當局ノ御意見ノ存スル處ヲ伺ッテ置キタイト存ジマス

○鈴木政府委員 砂防計畫ハ河川改修ノ計畫ニ伴ヒマシテ、直接改修ノ河川ニ關シマシテハ國ガ遺ルノガ原則ト致シテ居リマス、地方行政廳デ施行スル砂防工事ニ對シテハ國家カラ相當ノ補助ヲ與ヘテ居リマス、是ハ加藤サン御承知ノ通りデアリマス、而シテソレダケデハ足リス、殆ド一村全滅ト云フヤウナ形ニナリマスガ他ニ移住スルコトハ好マナイ、尙ホ其處ニ留マッテ居ル爲ニ災害ガ益慘澹タルモノニナルト云フ例モ無論ナイノデハナイノデアリマシテ、サウ云フコトモ確ニゴザイマス、是等ノモノニ對シマシテハ國トシテハ

決シテ放任致シテ置クト云フ譯ニハ無論行カナイノデアリマス、唯程度問題デアリマス、程度ノ非常ニ甚シキモノニ對シマシテハ、是ハ國ガ直接遣ルコトモ出來ズ、或ハ地方廳ガ徹底的ニ遣ルコトガ出來ズ、又補助モ十分デナイト云フ場合ニハ、低利資金ト云フヤウナモノヲ廻シテ遣ラセルト云フヤウナ途モナイデハナカラウト思ヒマス、是モ併シ國ノ財政ニ係ルコトデアリマスカラ、全部サウ出來ルト云フ場合ノミデハナカラウト思ヒマスルケレドモ、大體ニ於テサウ云フ途モ開ケテ居ルコトニ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○加藤委員 尙ホ大臣ガ御出席デゴザイマシタラバ、斯ウ云フヤウナ場合ニ於ケル低利資金等ニ付テ御伺ヒシテ見タイト思ヒマスケレドモ、只今大臣モ御臨席デゴザイマセヌシ、何レ又他日機會ヲ見テ質問致シタイト考ヘテ居リマスガ、私ノ質問ハ是デ打切りニシタイト思ヒマス

○神谷委員長 寺田君別ニ御質問ハゴザイマセヌカ

○寺田委員 河川法ニ付キマシテハ私ハ極メテ素人デ知識ガ無イノデアリマスガ、二三事項ニ付テ一ツ當局ニ質問シテ見タイト思フノデアリマス、一體河川法以外ニ日本ノ河川ニ付テ國ガ管理スルカ維持スルカ云フコトニ關スル法令ガアルカナイカ、總テノ日本ノ主ナル河川ニ關シテ、此河川法デ管

理處理シテ行カレルノデアリマス、ソコガ能ク分ラヌノデアリマスガ、ソレダケデアルトスレバ是ハ假定デアリマスガ、此法律ハ二十九年ニ御制定ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、頗ルドウモ時代離レガシテ居ルヤウデアリマス、爾來大正何年カニ一遍一部ノ改正ヲシタヤウデアリマスガ、種々ノ省令トカ云フモノガ澤山出テ居ッテ、洵ニ紛ラハシクナッテ居ルヤウデアリマス、是等ハ何等カ纏メテサウシテ一目瞭然デ素人ガ見マシテモ、直グ日本ノ河川ニ關シテ國家ガドウ云フ權限ヲ持ッテ居ッテ、ドウ云フ處置ヲシテ居ルカト云フコトガ分ル位ニ、極メテ明確ニ是等ヲ總括シテ纏メタ所ノ改正案ヲ御出シニナル御心組ガ今ナイノデアリマス、ドウデアリマス、又サウ云フ御計畫デモオアリナサルノデアアルカ、ソレヲ承リタイ、モウ一點ト致シマシテハ、當局者ハ斯ウ云フ煩雜ナル各關係ノ法令ニ付テハ、能ク纏メテ御出シニナッタ一例ト致シマシテ、近頃御出シニナッテ居ルト思ヒマスガ、例ノ出版法ノ如キ、即チ出版法ヤ出版豫約法ヤ著作權法等ヲ纏メテ御出シニナッテ居ル、サウ云フヤウナ出シニナルカドウカ、伺ッテ見ナケレバ分ラヌノデアリマスガ、河川ヲ國家ガ管理シテ行ク上ニ於テ、唯此川ハ近來急ニ荒レテ非常ナ災害ヲ起スカラ、此奴ヲ此方ニ加ヘテヤラウ、此川ハ近來

色ニナ關係デドウモ災害ガ多イカラ、之ヲ國家ノ管理ニ移シテヤラウト云フヤ

タイ

○鈴木政府委員 只今寺田サンノ御質

見、是モ御尤デアリマス、從來ノ日本ニ

ルカラ、ドレヲ何時カラ始メルト云フ

コトハ、直ニハ決メラレヌノデアリマ

○寺田委員 只今ノ御説明デ大體了承

致シマシタガ、治水計畫ニ於テ第一期

ハ、大體ハサウ云フ筋合ニナッテ居ルモ

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

致シマシタガ、治水計畫ニ於テ第一期

ハ、大體ハサウ云フ筋合ニナッテ居ルモ

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

致シマシタガ、治水計畫ニ於テ第一期

ハ、大體ハサウ云フ筋合ニナッテ居ルモ

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

テハ管理ハ既ニ府縣ニ移シテシマツテ
顧ミナイノデアリマス、其處ノ所ヲ
一寸……

○鈴木政府委員 寺田サンノ只今ノ御

省令カ何カデ、其工事ハ此河川法第六
條ニ依テ内務大臣ガ管理スルゾト云フ
コトノ命令書デモ御出シニナルノデア
リマス

尋ガ丁度此法案ニ密接ナ關聯ヲ致シテ

○鈴木政委員 是ハ改正案ガ「必要ト
認ムルトキ」トアリマスルカラ、主務大

居リマス、河川改修工事ヲヤリマシタ

臣自ラ河川ニ關スル工事ヲ施行シタモ

後ニ、内務大臣ガ直接管理維持修繕ヲ

ノノ中デ、特ニ必要ト認ムルトキニ之

致シテ居リマスモノハ、第六條ノ規定

ヲ適用スル譯デアリマスカラ、矢張認

ニ依リマシテ、他府縣ノ利益ヲ保全ス

メナケレバイケマセヌカラ、是ハサウ

ル場合ニ限ラレテ居リマスルカラ、今日

云フ風ナ告示ガ出ル譯デアリマス

迄ハ餘リニ數ガ多クナカッタノデアリ

○神谷委員長 本日ハ缺席者モアルコ

マス、即チ今日迄ニ國ニ於テ附屬物及

トデアリマスカラ、此程度ニ止メテ次

水路ヲ維持スル爲ニ、國ガ直接管理致

同ニ讓ルコトニ致シタイト思ヒマスガ

シテ居リマスモノハ、木曾川ノ一部、淀

如何デゴザイマスカ——本日ハ是ニテ

川ノ一部、ソレカラ利根、渡良瀬、兩川

散會致シマス次回ハ追テ公報ヲ以テ御

ノ一部、此三ツダケガ國ガ直接管理ヲ

通知致シマス

致シテ居タノデアリマス、木曾川ハ岐

午後二時二十一分散會

阜、愛知、三重三縣ニ關係ガアリマス、

淀川ハ滋賀、京都、大阪ノ三府縣ニ關係

ガアリマス、利根、渡良瀬ハ東京、埼玉、

千葉、茨城、群馬、栃木、是等ノ諸縣ニ關

係ガアルモノトシテ、國ガ管理致シタ

ノデアリマス、今日ノ此改正法律案ガ

通過致シマスレバ、二府縣ニ跨ラナイ

場合ト雖モ、一府縣内ノ河ト雖モ、内務

大臣ガ直接工事ヲ施行シタモノニ付テ

ハ國ガ管理シ、維持修繕ニ當ルト云フ

コトニナリマスル次第デ、其適例ハ先

程モ一寸申上ゲマシタガ、信濃川ガ即

チ之ニ當ル次第デゴザイマス

○寺田委員 サウスルト今度ノ改正案

デ當然サウナルノデスカ、又特ニ内務